

以下、本文-----

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

また、当該情報は別の目的の研究に二次利用することがあります。その場合も、研究の内容等について新たに研究計画書を作成し、別途臨床研究審査委員会の承認を受けて実施します。その場合も個人が特定される情報は一切公開しません。

社会情勢の変化（SNS 利用の増加や COVID-19 感染拡大など）と過量服薬との関連に関する研究

1. 研究の対象

2010年1月1日 から 2022年12月31日 までの間に、当院の救命救急科で急性薬毒物中毒についての診療・治療を受けられた方

2. 研究目的・方法

目的：下記の試料・診療情報等を利用し、急性薬毒物中毒における起因物質と身体症状、近年の動向の解明を目的とした研究を実施するため、当院において急性薬毒物中毒の治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとにデータを選び、急性薬毒物中毒に関する分析を行い、身体症状や経年的な変化および特徴について調べます。

方法：この研究に使用する情報として、診療情報から項目3に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・試料：なし
- ・診療情報等：年齢、性別、受傷機転、既往歴、検査結果（血液・尿検査、心電図）等

4. 情報の提供先・提供方法

上記の試料・診療情報等を診療録より収集し、研究担当者にて保管いたします。

5. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの直接的な資金提供はないため利益相反はありません。

6. お問い合わせ先

東海大学医学部附属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：6773）
研究責任者、お問い合わせ担当者 救命救急科 山本 理絵

-----以上